

Vol.4

連携実例集

Build
Innovation
Together

共に
イノベーションを

新たな連携で産み出す イノベーション

大田区のものづくり

大田区には臨海部を中心に多くの機械・金属加工業を主とした製造業が立地し、日本高度成長期を支え発展してきました。その8割弱は従業員9名以下と規模は小さいながらも、厳しい市場の要求に応え、加工基盤技術と多様なノウハウを習得してきました。現在、約4,200事業所のものづくり企業が稼働しています。

新たな連携が必要な時代へ

現在、IoTやビッグデータ、AIと言った技術革新が起こっており、進化するデジタル技術を活用することで今まで不可能と考えられてきた社会の実現性が高まるなど、産業構造が劇的に変わりつつあります。ものづくり企業が今までのように内製化された技術や人材だけでスピードの早い産業構造の変化に対応することは難しく、外部の機関や企業と連携することが強く求められています。

連携力によるイノベーション創出を目指して

こうした変革の時代において今後の成長が期待される産業分野にはEV・自動走行技術等の先端モビリティ、医療・健康・福祉のヘルスケア分野、産業全般を支えるロボティクス・デジタル分野等があります。当協会の次世代産業創造・産業クラスター形成事業は、大田区企業との親和性の高いこれらの分野を次世代産業と位置づけ、区内中小企業が新しい連携を構築することにより新分野に進出し、新たなイノベーションを創出することを目指しています。

本事例集では、当協会がマッチングして生まれた区内中小企業と企業・機関による様々な連携の実績をご紹介します。

Contents

PART01 医工連携（医療・看護・介護福祉・ヘルスケア分野 ニーズ × 区内中小企業）	03
事例 01 ■ DentalSCOPE インジケータの開発 教育機関 朝日大学・鶴見大学 × 医療機器製造販売業者 メディア株式会社 × 区内中小企業 有限会社和氣製作所・日進工業株式会社	
事例 02 ■ マルチカート（車輪付き担架）の開発 大田区役所 × 区内中小企業 株式会社トライキット	
事例 03 ■ 日本人患者様向けストーマ装具装着穴のリサイズ加工 医療機器メーカー企業 ビー・ブラウンエースクラブ株式会社 × 区内中小企業 日新電気株式会社	04
事例 04 ■ 新素材の元となる粉末改質のための自動処理装置の開発 教育機関 豊橋技術科学大学 × 区内中小企業 ケーディークロート株式会社	
事例 05 ■ 足関節リハビリ支援装置「スムーズウォーカー」の開発 医療機関 氏家脳神経外科内科クリニック等 × 区内中小企業 アベテクノシステム株式会社	
PART02 農工連携（農業分野ニーズ × 区内中小企業）	05
事例 06 ■ 急斜面対応型 半自律走行型草刈ロボットの開発 研究機関 農研機構（西日本農業研究センター） × 区内中小企業 株式会社エース、I-OTA 合同会社等	
事例 07 ■ スキンバック（真空パック品）の連続カット装置の開発 株式会社カリフッド × 区内中小企業 株式会社 KSG	
事例 08 ■ 薬用植物収穫機具装置の開発 秋田県美郷町農政課 × 区内中小企業 株式会社 カセダ	06
研究会 ■ おおた農水産業研究会	
PART03 モビリティ・ロボティクス（自動車ロボット分野ニーズ × 区内中小企業）	07
事例 09 ■ ICOMA「タタメルバイク」の開発、製造 株式会社 ICOMA × 区内中小企業 株式会社テクノロジーリンク	
事例 10 ■ 蕎麦容器ラベル貼り機 出雲たかはし × 区内中小企業 HK TECHNOS 株式会社	
PART04 スポーツ産業分野との連携（スポーツ分野ニーズ × 区内中小企業）	08
事例 11 ■ 車いすバスケットボール用車いすのキャスター部品「フォーク」及び「シャフト」の開発 車いすメーカー 株式会社松永製作所 × 区内中小企業 株式会社カセダ、株式会社エース、株式会社昭和製作所	
事例 12 ■ CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用車いす車輛の開発 車いすメーカー 株式会社松永製作所 × 区内中小企業 株式会社 The MOT Company 他	
大田区研究開発マッチング	09
おおた研究・開発フェア	10
ユナイテッド助成	

医療・看護・介護福祉・ヘルスケア
分野のニーズ × 区内中小企業

医療分野への進出支援

医療やヘルスケアの分野は、社会の高齢化やデジタル技術の導入等、社会や産業の変化により、今後も成長が期待される産業です。当協会は、医療機器のほか、福祉や介護を含め医療全般の分野を区内中小企業の培ってきた高度基盤技術が活用できる有力な市場であると考え、新規参入を支援しています。異業種からの参入が難しい分野ですが、医療分野出身の専門相談員が医療分野とものづくり企業の橋渡しをし、スムーズな連携を支援しています。

事例 01

教育機関 朝日大学・鶴見大学 × 医療機器製造販売業者 メディア株式会社
× 区内中小企業 有限会社和氣製作所・日進工業株式会社
DentalSCOPE インジケータの開発

朝日大学、鶴見大学による研究成果、有限会社和氣製作所と日進工業株式会社によるものづくり、メディア株式会社のソフト開発と販売力が連携し、骨密度の解析に不可欠な専用インジケータを開発しました。『DentalSCOPE』は専用のインジケータを使用して撮影した歯科用のレントゲン写真を解析し、歯槽骨の骨密度を計測する医療用プログラムです。有限会社和氣製作所と日進工業株式会社が設計と製造を手掛けたインジケータは、人の歯が直接当たる部分でもあり、正確なレントゲン写真を撮るために高い精度と安全性が要求されます。約3年間に設計と試作を繰り返し、医療機器としての認可を得て、2020年9月にメディア株式会社により上市されました。

企業特色

有限会社和氣製作所

工場内を24時間温度管理し高速・高精度マシニングセンタによる高品位加工を得意としております。長時間の連続加工においても精度劣化がなく金型の磨きレス・磨き工程の軽減・短納期化を追求しております。

日進工業株式会社

プラスチック射出成形・金型設計・研究開発を生業としております。プラスチックでお困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。お客様の立場に立って誠心誠意ご対応致します。



ソフトウェア



インジケータ

DentalSCOPE



事例 02

大田区役所 × 区内中小企業 株式会社トライキッツ
マルチカート（車輪付き担架）の開発

緊急災害時などにおいて傷病者を搬送する際、非力な方でも搬送を可能にする為、車輪を装着した台車に一般的な担架を載せる仕様で製品を構築しました。当社が開発した車輪付き担架は、●大田区民の声を元に設計、●担架と台車は独立使用可能、●ブレーキ付の四輪なので安心安全、●前輪は大きなタイヤなので、ガレキや段差も乗り越え可能、●わずか30秒で組立可能、という特徴があります。一分一秒を争う救命搬送の現場で活躍する「車輪付き担架」は、大田区内の自治会・町会に配備しております。

企業特色

株式会社トライキッツは、お客様のこんなモノ作りたい・あんなモノ作りたい…の「想いに応え 想いをカタチに！」を経営理念に掲げ、業界・素材問わず、あらゆる商品・製品のデザイン、開発、設計、試作、量産まで一気通貫のモノづくりを行っております。

SAVE the LIFE
命を守るモノづくり

Multi Cart for 緊急災害・救急医療



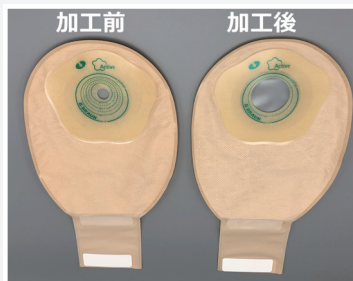
事例 03

医療機器メーカー企業 ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 × 区内中小企業 日新電気株式会社 日本人患者様向けストーマ装具装着穴のリサイズ加工

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社はドイツに本社を置く医療分野のリーディングカンパニーです。同社は人工肛門・人工膀胱の方が使用する「ストーマ装具」を海外から輸入販売していますが、日本人の患者様へより良いサービスを提供するため海外規格である装着孔（穴）を日本市場向けの規格へ変更したいと相談がありました。ストーマ装具は直接身体に取り付けて、排泄物を管理するため、気密性が求められ、ストーマ袋に加工穴以外の傷や折り目などはつけてはいけなく、加工時のバリや加工粉が出てはならない等の厳しい条件がありましたが、当社が長年の樹脂加工で培った技術でこの課題を解決し、試作、製品化にたどりつきました。

企業特色

日新電気株式会社は、樹脂加工一筋 54 年、「日々新たに挑戦するエンジニア集団、やりがいのあるものづくりでお客様の難題に応える」を経営理念とし、蓄積したノウハウと多種多様な工作機械で樹脂加工のワンストップサービスを提供いたします。



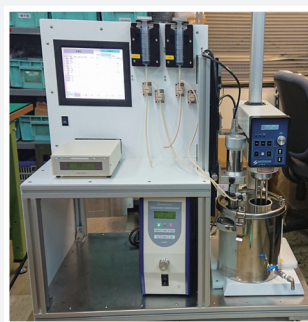
事例 04

教育機関 豊橋技術科学大学 × 区内中小企業 ケーディークロート株式会社 新素材の元となる粉末改質のための自動処理装置の開発

豊橋技術科学大学、岐阜県セラミックス研究所が受託した、内閣府 SIP 事業（革新的設計生産技術）における次世代材料開発プロジェクトにおいて、豊橋技術科学大学より依頼を受けて、微粒子表面の改質処理（集積化）を短時間でを行うための量産装置を開発製造しました。この装置を用いることで、粉末を出発原料として用いる産業で求められている複合粒子、複合顆粒を短時間で大量に作製することができます。集積化には、豊橋技術科学大学で開発した静電相互作用を用いますが、これに必要な表面改質を自動処理するための装置を、精密液滴操作の技術を用いて世界で初めて開発しました。

企業特色

ケーディークロート株式会社は、機構設計・電気系の設計・制御ソフトの設計等総合力を持ち、医療用機器から環境関係装置など幅広い分野の製品の受託開発・製造の仕様を詰める段階から装置の開発製造までを行っております。



事例 05

医療機関 氏家脳神経外科内科クリニック等 × 区内中小企業 アベテクノシステム株式会社 足関節リハビリ支援装置「スムーズウォーカー」の開発

東京工業大学の特許をもとに、大田区産業振興協会のコーディネートにより、アベテクノシステム、東京工業大学、東京労災病院による開発チームを結成し（2016年）、足関節リハビリ支援装置を開発しました。関節の癒着・拘縮の予防、関節可動域の改善に効果があり、脳卒中などによる麻痺や骨折後などの足関節リハビリ支援装置です。内蔵のモータによりフットプレートを可動させ、設定した角度及び速度・強度により、一定の時間、底屈・背屈の往復運動を繰り返します。医療機器としての製品化にあたっては、氏家脳神経外科内科クリニックの監修のもと開発し、株式会社メッドフォルシュングがブランドオーナーとなり認証取得しました（2021年）。「メッドフォルシュング スムースウォーカー」の販売名で販売中です。

企業特色

アベテクノシステム株式会社は「最初のひとつ」を創る会社」として、①精密切削加工②装置等の設計製作③監視・放送システム等のシステム開発、を行ってきました。これらの技術を生かし医療・福祉機器開発に取り組んでおります。本開発を機に、医療機器製造業登録及び、高度管理医療機器等販売業・貸与業を取得しました。



農業分野のニーズ×区内中小企業

農業分野への進出支援

当協会では、地方金融機関や外部機関等との連携を契機に、農工連携セミナーや農業法人視察ツアー等を実施し、区内中小企業による研究会を発足させました。農業現場では機械化や省力化、IT化等が必要とされていますが、個々の課題を現場で解決する手段は限られています。そこで区内中小企業が技術力を生かし、農業現場での課題解決のために細かなニーズに対応した農業機械の開発に取り組んでいます。現在では研究会はおおた農水産業研究会として、農業だけでなく水産業や海外へ活動を広げています。当協会では、こうした新たなクラスター構築による課題解決型のイノベーション創出を進め、大田区産業基盤の強化を図ります。

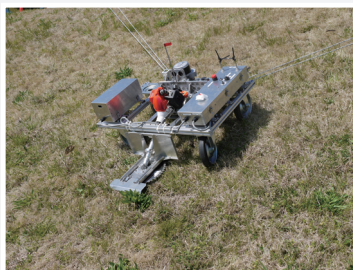
事例 06

研究機関 農研機構（西日本農業研究センター）
× 区内中小企業 株式会社エース、I-OTA 合同会社等
急斜面对応型 半自律走行型草刈ロボットの開発

本製品は、農業・食品産業技術総合研究機構との共同開発からスタートしました。日本の農地の約4割は山間地に存在しており、除草作業は高齢化した農家には大変危険な重労働でありながら必須の作業です。その効率化と安全性の向上に大きく貢献する機体を区内中小企業の共同事業体であるI-OTA 合同会社およびそのネットワーク企業と協力して開発しました。本製品の特徴は、急斜面の草刈りに特化した特殊な機体です。2本の固定杭と、その間に設置したワイヤーによる牽引で精緻な位置制御を行い、斜面の草刈りを行います。重量は25kg程度と軽量で、足回りがキャスターとなっているため、人力で押して移動させることができます。また、ワイヤ牽引式なので、雨上がりのぬかるんだ斜面でも滑ったり落ちたりする心配もありません。本製品は、2022年から市販化されました。

企業特色

株式会社エースは、自動車メーカー及び部品メーカー向けの各種治具製作及び専用機部品、鉄道関連部品の他、様々な分野の機械加工を行っています。区内企業及び全国およそ200社のネットワークを構築し、一貫生産体制を整えています。また、現在は農機具開発を積極的に行っている企業です。



事例 07

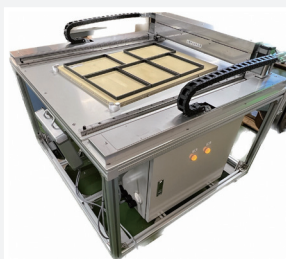
株式会社カリフッド × 区内中小企業 株式会社 KSG
食品業界に革新
スキンパック（真空パック品）の連続カット装置の開発

あらゆる商品・食品を小分けにし、真空パックしたものを切り分けるためには、たくさんの人員が必要でした。弊社では、業界の従業員不足を解消するために、一枚のシートに小分けに多数パックされていた品物を、自動裁断するプレス機を開発しました。

高い金型を使用せず、トムソン型を使用して、企業様の初期投資を最小限に抑え、効率化を実現することができます。現場の声を聞きながら商品開発をすることで、現場の工程に合う形の装置が完成いたしました。

企業特色

株式会社 KSG は、自動化設備をお客様とともに提案・検討・製作し、また提供することで最も乗り越えなければいけない課題を早期に解決することができます。また、創業当初から部品加工業者（町工場）としての顔を持ち、設備に使用する加工部品や購入品を効率よく製作することが可能となります。



この装置は薬用植物（エイジツ）を刈り取り実を手作業で果柄と分離をしていました。この作業では1日の生産量が作業者の人数で決まってしまう。増産するには作業者を増やさなければなりません。人件費の増加につながり単価が上昇します。刈り取り後の作業を自動化することにより増産が可能になり単価の上昇を抑えることができます。問題は産業用部品等と違い大きさや形状が均一ではありません。その為ある程度の大きさや形状を想定して実験で確認し設計しなければなりません。装置の内容は畑で刈り取られた枝付の実を脱穀機で枝から分離して次工程で実付き果柄までにします。以後は回転と直進フィーダーで送り最後に実と果柄をカットします。実と果柄が1セットになればいいのですがサクランボみたいに実と果柄が2つ繋がったものが流れていくと途中で止まってしまいます。このようなものが流れていかないように現在対策中です。

企業特色

株式会社カセダは、キャリパーゲージのメーカーです。以外はOEM製品の設計製造、自動機的设计製造、治工具的设计製造等を行っています。大田区の町工場ネットワークを利用した「ワンストップサービス」を提供しています。



おおた農水産業研究会

おおた農水産業研究会は、当協会と日本各地の金融機関との連携による農業ニーズの発掘をきっかけに、大田区を中心とした卓越した技術・企画力を持つ企業が集結し、H29年に活動を本格化させました。株式会社カセダが主に設計を担当し、研究会のメンバーとものづくりを分担して最終製品へと仕上げています。国内のニーズに留まらず、今では農林水産省等からの提案を受け、ルワンダ、ウガンダなどのアフリカ各国からのニーズに応えています。

農業ニーズ ルワンダ共和国 × おおた農水産業研究会 「ひまわり播種機の開発」

当研究会では、2016年みずほ情報総研株式会社様主導の、アフリカ・ルワンダ共和国への花き生産技術等輸出プロジェクトの一環である「ひまわり播種機」(種まき機)の製造に協業として尽力しました。現地では木製の壊れやすい播種機を使用していたため、農作業効率が悪く非常に困っていました。そのニーズを解決すべく、ステンレスを用いた丈夫で持ち運びしやすい新たな播種機を開発し、現地作業員からは作業性が格段に向上したとのお声をいただきました。当研究会では引き続き、国内外隔たりなくお困りごとの解決のために尽力してまいります。



農業イベント情報 農水省 × おおた農水産業研究会 「第7回アフリカ開発会議への出展」

当研究会は、2019年8月28日～30日に開催された「第7回アフリカ開発会議(TICAD 7)」のサイド・イベント「日本・アフリカビジネスフォーラム& EXPO」において農林水産省様ブースの一角に展示させていただきました。以下4つの製品の展示を行ったところ、大きな反響を得ることができ、今後連携や取引につながる見込みです。今後、大田区中小企業のアフリカ進出や、農工連携の可能性の広がりが期待されます。



出展内容

- ① (株) カセダ
- 米の石抜き器
- ③ (株) 農援隊
- アイメック農法によるトマト栽培
- ② テック大洋工業 (株)
- ボン菓子機
- ④ (株) 共立理化学研究所
- パケット®

モビリティ
ロボティクス

自動車・ロボット分野のニーズ × 区内中小企業

自動車・ロボット分野の課題解決

モビリティ・ロボット分野は、作業の自動化や私たちの生活の利便性を向上するロボットなど、今後も成長が期待される分野です。また、区内中小企業の技術力・開発力は、先端的なモビリティ・ロボティクスの開発に活かされています。当協会は今後もモビリティ・ロボット分野と連携し、様々なニーズに応えていきます。

事例 09

株式会社 ICOMA × 区内中小企業 株式会社テクノロジーリンク
ICOMA 「タタメルバイク」の開発、製造

駐車場が高額、スペースがないことで、乗り物の運用が難しい都心部において、折りたたむことで玄関先などでも駐車可能、所持コストも低く日常的に使いやすい電動バイクとして活用され、緊急時にはポータブル電源のようなバッテリー運用も可能です。

電動バイクならではのメリットを活かしたデザインとして海外の展示会でのアワード受賞や、メディアや SNS で話題になりました。2023年5月には受注を開始し、2023年中に初回出荷を予定しています。

企業特色

株式会社テクノロジーリンクは、開発コンセプトの策定から市場投入までの様々なフェーズで産業分野の装置、機器、要素技術、部品などの開発・設計・試作・製造などを受託で行っております。また、株式会社 ICOMA は、株式会社テクノロジーリンクとの連携をきっかけに、産業集積地である大田区に立地しました。大田区ならではのネットワークを活かし、今後もものづくりを進めています。



事例 10

出雲たかはし × 区内中小企業 HK TECHNOS 株式会社
蕎麦容器ラベル貼り機

従来、中小食品業界は多品種少量生産・労働集約企業が多く、「出雲たかはし」も例外ではありませんでした。今回、開発したラベル貼り作業も自動化が進んでおらず、多くは手作業でした。

作業者の負荷低減、生産性向上に資すべく、ニーズ調査を行い、全自動ではなく、多品種少量生産にも適用しやすい半自動仕様のラベル貼り機を開発しました。

この機械は蕎麦ラベルに限らず、多品種少量のラベル貼り工程に適用できると考え、蕎麦以外の業界への展開を模索中です。

- ・従来の手作業 → 1パック 17秒 (実測平均値)
- ・機械化 → 1パック 7秒 (設計値)

企業特色

HK TECHNOS 株式会社はエンジニアリングとして、自社で企画・設計・製作はもちろん、協力会社様と共に機能・性能・価格などお客様のニーズにお応えする事を基本としています。「不便を便利に」「想像(思い)を創造」します。商品化へのお手伝いも承っています。(参考例…災害用携帯トイレなどの他、ダイカット加工・請負加工も対応)



その他参画企業：スプレッドリンク株式会社、(公財)しまね産業振興財団

スポーツ産業 分野との連携

スポーツ産業分野のニーズ × 区内中小企業

スポーツ産業分野の課題解決

スポーツ産業分野は、昨今の健康志向の高まりや障がい者スポーツの発展、eスポーツの登場などを背景に、ニーズが多様化しています。選手ごとに異なる要望や障がいを持つ方が安心安全に扱えるスポーツ用具の開発は、多品種少量生産を得意とする大田区中小企業のきめ細やかな技術力・対応力が活かせる分野です。当協会では、ライフサイエンス・ヘルスケア分野のひとつとして、スポーツ産業分野との連携を進めています。

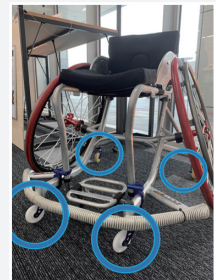
事例 11

車いすメーカー × 区内中小企業 車いすバスケットボール用車いすのキャスター部品 「フォーク」及び「シャフト」の開発

大田区及び大田区産業振興協会では、平成29年度から令和2年度までの期間、区内中小企業14社と車いすメーカーとの連携により「障がい者スポーツ用具製品開発事業」を実施しました。令和2年度には、車いすバスケットボール日本代表選手の採用を目指し、車いすを操作する上で重要なキャスター部品である「フォーク」と「シャフト」を開発、既存品に比べ約50%の軽量化を達成しました。開発した「フォーク」と「シャフト」は、東京2020パラリンピック競技大会に出場する日本代表選手に採用され、男子は銀メダルを獲得、女子は6位入賞という好成績を収めることができました。

企業特色

大田区には、設計から製作まで区内企業間のネットワークで対応する「仲間まわし」の文化が根付いています。本件は、区内ものづくり産業の「技術力の高さ」とともに、「開発力」や「製造対応力」を表す好事例です。



事例 12

車いすメーカー 株式会社松永製作所 × 区内中小企業 株式会社 The MOT Company 他 CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用車いす車輛の開発

大田区産業振興協会が実施した「障がい者スポーツ用具製品開発事業」において、車いすメーカーの株式会社松永製作所（本社：岐阜県）と連携し、CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用の車いす車輛を開発しました。当初、パイプの組み合わせで構成されていたアルミフレームをCFRPへ置き換えることで軽量化につながると想定していました。その結果、軽量化は図れたものの、選手がラケットを振った際にバランスを崩してしまうことから、フレームの反発力が重要な役割を担っていることに気がつきました。フレームの設計を大幅に変更しモノコック形状（一体構造）としたことで、その反発力を高めることに成功しました。また、CFRPとホイール等をジョイントするための金属部品は株式会社エースを中心とした大田区中小企業の協力を得て完成させました。本車いすは選手から高い評価を受けました。

企業特色

株式会社 The MOT Company は、CFRPのプレス量産加工設備を備えています。金型にプリプレグを入れて一発成形する技術を開発しました。



大田区研究開発マッチング

大田区産業振興協会では、共同研究・新製品開発・設計・試作等のパートナーをお探しの皆様に、最適な大田区ものづくり中小企業を紹介いたします。皆様のご要望に合わせたマッチング方法を提供いたします。

Webサイトmirai <https://www.mirai-ota.net>

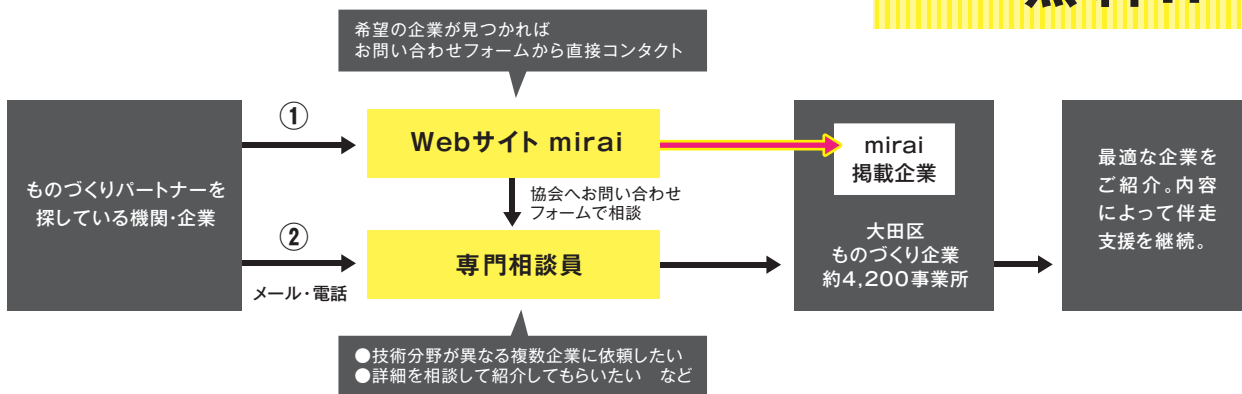
研究開発、設計、試作量産、難加工等を得意とする約150社の情報を掲載しています。お問い合わせフォームから直接ご連絡いただけます。



相談員に相談

電話やメール等で直接お伺いした上で、大田区ものづくり企業約4,200事業所の中から最適な企業をご紹介します。

ご相談・マッチング
無料!!



オープンイノベーション

大田区企業向けに貴社の技術課題やニーズをプレゼンいただき、大田区企業からの提案を募集します。多くの企業が参加しますので、思いがけない提案が得られる可能性が広がる形式です。内容によっては、当協会と事前に打ち合わせを行い、参加企業を絞って開催することも可能です。



出張展示会

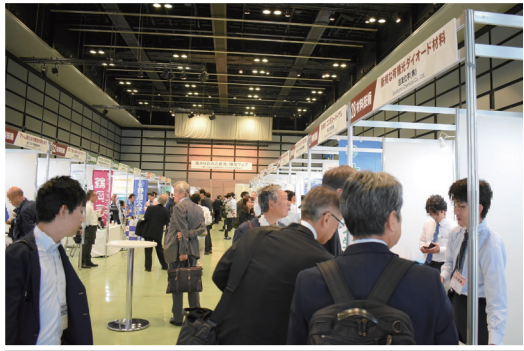
貴社の技術課題やニーズ、ご希望に合った企業を協会がピックアップし、貴社の会議室等をお借りしてミニ展示会を行います。貴社で行うため、より多くの社員の方にご参加いただくことが可能です。



お問合せ先

公益財団法人大田区産業振興協会 経営支援部 イノベーションセクション
電話：03-3733-6294 E-mail：mono_matching@pio-ota.jp

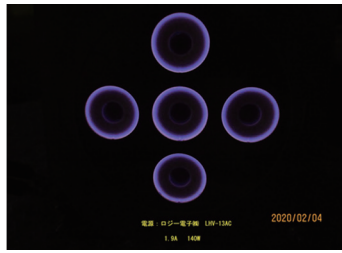
おおた研究・開発フェア



おおた研究・開発フェアは、「技術移転」「新製品・新技術」「産学連携」「産産連携」をキーワードにした展示会です。最新の技術シーズや研究成果の技術移転や社会実装を目指す出展者と新たな技術を求める来場者の出会いの場を提供し、イノベーションの創出を促進することを目的としています。例年、多くの区内中小企業が来場し、新たな連携が生まれ、受発注取引、共同研究、研究室の区内誘致などの多くの実績につながっています。

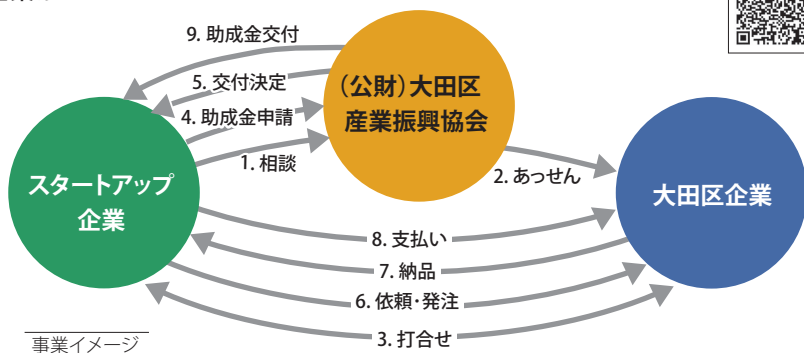
教育機関 麻布大学 × 区内中小企業 インパクトワールド株式会社 ウイルス不活化の検証

インパクトワールド株式会社は、共同研究パートナーの麻布大学と「おおた研究・開発フェア」に出展し、来場者の皆様から多くのニーズや気づきをいただくことができました。我々の技術はプラズマを利用してダイオキシンや揮発性有機化合物（VOC）など空気中の有害物質を分解する技術ですが、菌やウイルスの不活化分野ニーズにも貢献できる可能性を大きく感じました。「おおた研究・開発フェア」への出展をきっかけに、さらなる共同研究を進めた結果、ネコカリシウイルスを対象にした実験では、プラズマ活性ゾーンにおいてウイルスは0・01秒以内に99・9%不活化できることを確認し、その成果を麻布大学から発表していただきました。今後は新型コロナなど他のウイルスについても不活化できる可能性が非常に高いとの仮説のもと、製品化を見据えて更なる共同実験に進み始めております。



スタートアップ × 大田区企業 ユナイト助成

ユナイト助成は、スタートアップ企業が有する付加価値の高い案件を大田区内に呼び込むとともに、受注増加・販路拡大及び技術力の向上を目的とした助成金です。スタートアップ企業が直面する試作の困難さを大田区内で解決することにより、大田区への立地を促します。





お問合せ先

公益財団法人大田区産業振興協会
経営支援部 イノベーションセクション
〒144-0035
大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザPiO
TEL : 03-3733-6294

Access

【電車】◎京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
◎JR京浜東北線、東急池上・多摩川線
「蒲田」駅より徒歩約13分
【お車】◎地下駐車場完備 100円 / 30分